

人工種苗クロマグロ養殖事業に係る
「業務連携・協力に関する協定」の締結について

高知銀行（頭取 海治勝彦）は、高知県における人工種苗クロマグロ養殖産業の振興に向けた情報発信等の協力体制を構築し、地域の活性化をサポートするため、「業務連携・協力に関する協定」に締結いたしました。

つきましては、本協定に基づく取り組みについてご説明のための連携協定式を開催しますので、お知らせいたします。

記

1. 開催概要

日時：2023年（令和5年）10月20日（金） 13:25～14:00
場所：高知銀行本店 7階会議室

2. 業務連携・協力に関する協定の目的

高知県を主とした近隣の地域で人工種苗クロマグロ養殖事業の取組（生産、育成、加工、販売情報発信等）について情報提供等の各分野に係る業務連携を円滑に行い、相互に協力し、地域経済の活性化の促進を図る。

3. 業務連携・協力に関する参画事業者

参画事業者	役割
道水中谷水産株式会社（高知県幡多郡大月町）	養殖（高品質な製品開発）
株式会社高知道水（高知県宿毛市）	加工、冷凍
株式会社マルミ（愛媛県八幡浜市）	商流、物流
林兼産業株式会社（山口県下関市）	飼料開発、魚病指導
橘浦漁業協同組合（高知県幡多郡大月町）	漁場提供、船舶管理
すくも湾漁業協同組合（高知県宿毛市）	養殖情報提供、地元調整
高知県水産振興部	養殖情報提供
株式会社高知銀行	財政支援、事業支援

4. 人工種苗クロマグロ養殖事業および連携協定イメージ

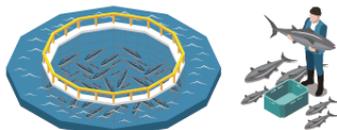
課題と背景

- ・高知県はクロマグロ養殖事業の出荷量・出荷尾数が全国3位
- ・人工種苗クロマグロ養殖事業は水産資源の保護（SDGs）に繋がる
- ・人工種苗クロマグロ養殖は難しく、致死率の高さやコストの高さが市場価格に影響
- ・水産事業者単体では、人工種苗クロマグロ養殖のビジネスモデル構築や認知度向上は困難

課題解決

人工種苗クロマグロ養殖事業のビジネスモデル

生産（事業主体）



道水中谷水産株式会社

- ・人工種苗クロマグロの育成
- ・クロマグロ養殖品評会で日本一になった高い技術力を活かし、高品質の人工種苗クロマグロを開発

生産支援

- 林兼産業株式会社**
- ・飼料開発
 - ・魚病指導（致死率低下）

加工

- 株式会社高知道水**
- ・鮮度管理
 - ・歩留まり率向上

販売

- 株式会社マルミ**
- ・商流の確保
 - ・物流の対応

後方支援

事業支援

橘浦漁業協同組合

- ・漁場の提供
- ・船舶の管理支援

事業支援

すくも湾漁業協同組合

- ・漁業関連の情報提供
- ・地元との調整

販促支援・金融支援

株式会社高知銀行

- ・財政支援（金融）
- ・販売促進支援

情報提供

高知県水産振興部

- ・NABRASを活用した赤潮情報、生餌用水産物の水揚げ情報の提供

目的

資源・環境に配慮した人工種苗クロマグロ養殖事業の取り組み（生産・加工・販売に係る情報発信等）について、各分野に係る業務連携を円滑に行い、相互に協力し、人工種苗クロマグロ養殖事業のビジネスモデルを構築することで、地域経済活性化の促進を図る。

- ①技術力向上（致死率低下・品質向上）
- ②情報交換・情報発信
- ③人工種苗クロマグロの市場提供・販売促進

➡ 高知県内における「養殖産業の発展」「雇用創出」「水産資源保護」への貢献を目指す

業務連携・協力に関する協定

人工種苗クロマグロ養殖事業の取り組みを地域へ情報発信することにより、地域に根付いたビジネスへ

以上

【本件に関するお問い合わせ】

高知銀行 地域連携ビジネスサポート部

担当：松村 TEL088-871-1576